

介護福祉 が 学べます！



介護福祉の世界に興味を持ってミライテラスに来てくださる方が増えています。実は介護福祉に強いミライテラス。何故かと言うと、てらすケアカレッジという「介護・福祉に必要な知識、技術を身につけ、介護・福祉分野での就業を実現する」ための職業訓練校を持っているからなのです。

平成25年からハローワークの求職者支援校として、てらすケアカレッジを開講し、その中で様々な受講生の皆さんと接し安定就労について真剣に取り組んできた中で、大きさの違いはあれどもみんな特性を持っている。自分の特性を理解できずに生きにくい、安定しない生活を送っている人が思った以上に多い事を知り、就労移行支援も必要だ！とミライテラスを開業しました。その後、自立訓練も必要だ！と自立訓練も出来るようにしました。

ミライテラスキッズ（1歳半-6歳向け発達支援教室）、ハッピーテラス（放課後等デイサービス）、ミライテラス（自立訓練・就労移行支援）、てらすケアカレッジ（介護教育）と、人生のどの地点からも支援できる体制を作っています。



介護福祉の参考書や専門書、実習ができるベッドなども揃っているので興味を持ったなら自立課題の時間に学ぶことがすぐに出来ます。

就活準備講座

キャリアコンサルタント・
産業カウンセラー
村田真一先生の

就活準備講座のご紹介



就活準備講座では、キャリアコンサルタント、産業カウンセラーとしてご活躍の村田先生が、心理学の授業とは違う角度から自分のキャリアを見つめ直し計画を立てる授業などをしていただきます。バリバリの企業戦士だった村田先生が語る、就活前の心構え、準備しておいた方が良い事は必聴です。全9回の就活準備講座ですが何回目から受講してもわかりやすいプログラムになっています。講義を聞く時間。一人でじっくり考える時間。グループで話し合う時間がバランスよく詰まった90分となっています。

受講者の感想



- ☆いつも考えないことを考えるので疲れた（良い意味で）
- ☆もっと授業の日を増やしてほしい。
- ☆みんなの話をきくことが面白くなってきた。
- ☆話をシェアすることは苦手だけど楽しい。
- ☆自分の事を見つめ直す時間が持てて良かった。

などなど感想いただいております。
見学も大歓迎です。お気軽にお問合せ下さい。

『編集後記』

おかげさまで2回目の年越しを迎えることが出来ました。メンバーさんも増え、就職率もアップ！メンバーさんの全員に関係する記事を書けられないくらい講師もプログラムもメンバーさんのグッドニュースもモリモリ増えています。今年も関わる全ての方を明るく照らすミライでらすでいようと思います。本年も宜しくお願い致します。

就労支援員 柳生 直亜

ミライでらす大和

神奈川県大和市中心2-3-19 ウェスト・ビルディング5階
電話 046-240-1967

フェイスブックやっています。よかったらみてください

「ミライでらす」で検索、もしくはQRコードで読み取りできます。



見学大歓迎です♪



2019年新年ご挨拶

謹んで新春のお喜び申し上げます。

ミライテラスは今年も大和より元気を発信してまいります。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

メンバーに今年の一文字を書いてもらいました☆



今年も障がいについての理解、周知活動と就職のサポートをスタッフ全員で行ってまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます



今度のオープンカレッジ開催は2月17日と22日。

《農業界で働くということ》《働き続けるために大切なこと》オープンカレッジは、一般の方も気軽に教室に来ていただけるようゲストをお招きしてお話しいただく時間と、直接支援員とお話しができる相談会が行われます。どんなところか見るだけ見てみたい。そんな方が多くいらっしゃいます。

お気軽にご参加ください。参加費無料・要予約



本日は、今年初のオープンカレッジ開催日でした。

午前中まるまる使って、三橋先生のお話しを拝聴しました。

～～講師紹介～～

三橋 淳子先生 精神科病院、就労事業所、生活支援センター勤務を経験。あるきっかけにより日本の精神医療と薬による人権問題に気付き独自に学ぶ。神奈川オルタナティブ協議会代表。

～～テーマ～～**精神保健福祉士Mが見た！精神福祉と医療の表と裏**

日本の精神医療は世界に比べてどうなのか？薬の消費量も半端ないっ！？
表と裏を見てきた三橋氏だからこそ語れる貴重なお話しばかりです。

スタッフYも拝聴しました。データに基づいた精神福祉と医療の現状をグラフで見ながら、様々な表と裏をお話しくださいました。

三橋先生がお話しくださったのは、精神福祉と医療のミライの形でした。

日本では、必要のない薬や入院を余儀なくされている方が多いのではないかとと思われる数字がどんどん出てきます。どうして日本はこんなに沢山の種類の薬をだすの？↑多剤大量処方というそうです。

日本ではセーフでも、海外から見たら、薬の副作用を薬で消すなんてどうかしてるよといったところでしょうか。

こちらはガイドラインも作成され、対処が進んできたそうです。

また日本は長期入院もダントツ桁違い。**20万人が一年以上入院**をしているんです。

それに比べて先進諸国では平均入院日数が**18日**。じゅじゅじゅ18日！？

日本では薬や病棟が増えていきましたが、その間に海外では**福祉・サポート機関が充実**していきました。これが日本の福祉が50年遅れていると言われる所以です。

三橋先生は決して医療や薬に批判的な意見を言ったり、批判的な立場を取ったりしているわけではありません。不必要なこと、自分の意思にそぐわないことをする必要はないですよ。と終始教えて下さっていました。

そして家族がなんでもやらなくてはならない。という根強い考え方も、これからは変えていく必要がある。と仰っていました。

知らないままではなく、知って選択をできるように。選択肢の多い社会に。

私たちには自分のことを自分で決める権利がある。

↑最後の方で三橋先生が仰ったこの言葉。この言葉に今回の勉強の内容が詰め込まれています。メンバーも、三橋先生のような方に今後こんな活躍をしてほしい！と熱い思いを伝えたり、アンケート用紙にびっちり記入してくれたり学びの多い時間になったようです。自分と医療とのかかわり方。福祉とのかかわり方を考える良い機会になったと思います。また、三橋先生は、就労するにはスキルやテクニックも必要です。でもそれだけではなく、こちら(ミライてらす)でも学んでいるセルフケアはとっても重要です。とお話しくださいました。まだまだ深掘りして伺いことが沢山ありましたが時間があつという間に過ぎてしまいました。三橋先生、ご来場いただいた皆さま、本日は有難うございました。